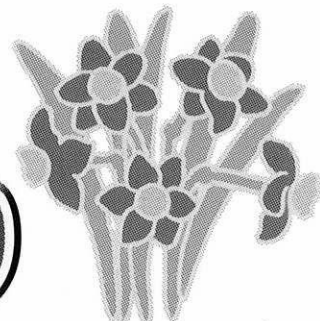


和泉市議会だより



市の花「スイセン」

平成30年第4回定例会を11月27日から12月17日までの21日間の会期で開催し、計43件の議案等を慎重に審査しました。詳細については本冊子の2ページ以降をご覧ください。

平成31年第1回定例会は
2月20日開会の予定です

イラストレーター小宮さえこ氏と
小学校児童27名による壁面アート



新庁舎建設のため解体する旧市民会館（現和泉市役所5号館）

めざろーアツツ

●新庁舎建設

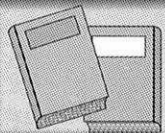
今定例会においては、新庁舎建設等に伴う補正予算（平成33年度までの継続費）総額82億円が提出され、可決いたしました。

●一般質問

4ページからの一般質問については、各議員のQRコードをスマートフォン等で読み取ることで、録画映像をご覧ください。

目次

○平成29年度決算審査概要	P.2～3
○委員会報告	P.3
○審議結果一覧表	P.4
○一般質問	P.4～9
○トピックス	P.9
○次回定例会の予定等	P.10



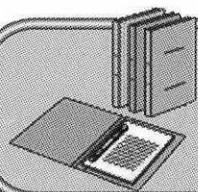
平成29年度 一般会計、各特別会計、 水道・公共下水道・病院会計決算を認定



決算審査特別委員会での質問項目

- ◇教育再生首長会議の負担金公金支出は適切か
- ◇人権文化センター・文化ホールについて
- ◇決算カードの用途と利用について
- ◇公共施設マネジメントについて
- ◇違法屋外広告物対策事業について
- ◇液体ミルクの備蓄はいつから可能になるのか
- ◇こども医療費助成対象の高校3年生までの拡充
- ◇病児・病後児保育の施設を増やす考えはないか
- ◇生活保護制度のさらなる適正化について
- ◇災害応急対策事業の被災世帯家賃補助金について
- ◇がん検診、受診率向上に向けた取り組みについて
- ◇生ごみ減量容器購入費補助事業について
- ◇就職情報フェア負担金について
- ◇光明池駅周辺地区歩道整備工事費について
- ◇北信太駅前ロータリー化等の再開発の進捗状況は
- ◇空き家実態調査委託料について
- ◇松尾寺公園整備事業について
- ◇建築基準適合性判定資格者登録免許税について
- ◇消防本部の移転・建替えについて
- ◇外国語指導助手（ALT）の増員について
- ◇特別支援教育推進事業・医療看護師報償費の件
- ◇小中一貫教育の今後の展望について
- ◇小学校障がい児用エレベーター早期設置について
- ◇小学校施設一般管理事業について
- ◇色覚特性に配慮した新しい取り組みについて
- ◇留守家庭児童会運営事業の備品購入費について
- ◇寄贈・寄託を受けた資料の保管について
- ◇SNSを活用した美術館のPRについて
- ◇子どもの読書活動、通帳型読書記録帳発行の件
- ◇国保会計の基金繰入について
- ◇介護保険制度下の施設入居希望者の待機期間は
- ◇街かどデイハウスの運営補助金増額の考えは
- ◇認知症地域で支えあい事業について

※委員が行った質問の一部を掲載しています



決算討論

本会議初日に行った一般会計及びその他会計の討論を一部要約して掲載しています。採決の結果は審議結果一覧表（4ページに掲載）をご覧ください。

【賛成討論】

■教育・生涯学習環境の充実では、全中学校区で小中一貫教育を本格実施。学習意欲があり、学習支援の必要な児童生徒を対象にした「いずみ希望塾」では学力向上の結果が出ている。出産・子育て支援体制の充実では、こども医療費の通院助成を7月診療分から中学校3年生まで拡充。民間保育所等の園舎建替補助による待機児童解消にも取り組んだ。健康・福祉施策の充実では、和泉市立総合医療センターにおける診療科の増設や内視鏡による胃がん検診を導入する等、医療体制の充実に努めた。安全・安心なまちづくりの実施では、通学路を中心に防犯カメラを増設。また、災害対策の拠点となる新庁舎建設に着手したほか、引き続き小中学校体育館の耐震を改修した。その他、様々な分野において施策の充実を図る中、ふるさと元氣基金を含めると、和泉躍進プラン（案）改訂版を上回る基金残高を確保したことで、台風21号による災害への復旧対応や大阪府北部地震によるブロック塀撤去改修対策に迅速に対応していること等から一定の評価をする。

【反対討論】

■公共施設等総合管理計画を推進するために、公共施設マネジメント推進審議会を始動させ、学校給食の委託・民営化を1校から4校に増やすなど次々と民営化を進めている。また、消防本部の旧市立病院跡地への移転を強行しようとしている。さらに、和泉市人権協会への助成金の支出が続いている。旧同和対策を特別視している対応であり、いい加減卒業すべき課題であると考えます。

■泉州東部区域農用地総合整備事業の支出が含まれている。完成後、農業団地の維持管理に要した費用は、平成29年度までで2千万円を超えた。平成29年8月の調査では、小川西団地で97%・小川東団地で85%・坪井団地で84%・善正団地で94%と、土地利用度のばらつきも顕著になってきた。また、マイナンバー制度に関する支出が含まれている。一部の外国では、導入後にもかかわらず廃止した国もある。あらゆる情報が番号によって紐づけられ蓄積される大変な制度であることに早急に気づき、廃止すべきである。

一般会計 決算

特別会計決算
企業会計決算

【反対討論】

■国民健康保険事業

平成30年度の「国民健康保険制度都道府県化」の猶予期間に大阪府が保険料を府内で統一したこと、低所得層に大変な負担増となっている。市として統一料金を中止する意思を明確にし、府に働きかけるべきである。

■後期高齢者医療事業

保険料軽減特例の見直しで、保険料が上がる。平成30年度以降はさらに負担が増える。導入時には軽減するが、落ち着いたら見直し、保険料を上げるやり方は認められない。

■公共下水道事業

市街化調整区域の公共下水道は義務づけられていない中、本市は平成25年から整備を行い、平成29年度までで合計6.9キロメートル、約9億1,500万円を投じている。しかし、水洗化率は低く、水洗化への移行がスムーズに進んでいないのが現状である。流域下水道が担う工事は終了したので、今後は本市だけの費用で市街化調整区域の下水道事業を行う必要がある。

委員会報告

第4回定例会において委員会付託された審査内容を一部要約して掲載しています。

総務安全委員会

12月4日に開催し、「和泉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について」、影響額や近隣市の状況などについて質疑を交わしました。議員の報酬が含まれていることから反対討論がありました。賛成多数で可決しました。「平成30年度和泉市一般会計補正予算(第5号)」のうち総務安全委員会所管分については、消防本部の建替えなどについて質疑を交わしました。消防署所適正配置事業が含まれていることから反対討論がありました。賛成多数で可決しました。

また、「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について」など2件の議案を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

都市環境委員会

12月3日に開催し、「市道路線の認定について(はつが野94号線ほか34路線)」については、舗装の種類などについて質疑を交わし、全会一致で可決しました。

また、「公の施設の指定管理者の指定について(和泉リサイクルプラザ)」、「公の施設の指定管理者の指定について(和泉府中駅前自動車駐車場)」、「平成30年度和泉市一般会計補正予算(第5号)」のうち都市環境委員会所管分、「平成30年度和泉市浄化槽事業特別会計補正予算(第1号)」、「平成30年度和泉市水道事業会計補正予算(第2号)」、「平成30年度和泉市公共下水道事業会計補正予算(第2号)」など7件の議案につきましては、それぞれ質疑はなく、全会一致で可決しました。

厚生文教委員会

11月30日に開催し、「公の施設の指定管理者の指定について(和泉市内体育施設(和泉市立市民体育館、和泉市立コミュニティ体育館、和泉市立光明池球技場、和泉市立光明池緑地運動場、和泉市総合スポーツセンター、槇尾川公園テニスコート、和泉市温水プール)」については、7つの施設を一括して指定管理するメリットなどについて質疑がありました。一般財団法人と民間が共同事業体を組むことに対して反対討論がありました。賛成多数で可決しました。

また、「平成30年度和泉市一般会計補正予算(第5号)」のうち厚生文教委員会所管分についてなど5件の議案を審査し、いずれも全会一致で可決しました。

庁舎整備特別委員会

閉会中の11月9日には新庁舎整備基本設計(案)の説明があり、エスカレーター設置などについて質疑し、府道大阪和泉泉南線の渋滞緩和などについて要望しました。

また、市民説明会の開催について、4号館及び5号館除却に伴う備品移転業務の受託者決定について、基本設計に係る物販・飲食機能導入サウンディング調査結果について説明があり、質疑を交わしました。

12月5日には「平成30年度和泉市一般会計補正予算(第5号)」のうち庁舎整備特別委員会所管分について可決しました。

また、設計・施工一括発注に係る事業者選定スケジュール(案)について、4号館及び5号館除却工事受注者決定についての報告があり、質疑を交わしました。

定例会審議結果一覧表

件名	委員会	本会議
平成29年度和泉市決算認定 ・一般会計 ・後期高齢者医療事業特別会計 ・国民健康保険事業特別会計 ・公共下水道事業会計	認定(賛成多数)	認定(賛成多数)
平成29年度和泉市決算認定 ・公共用地先行取得事業特別会計 ・浄化槽事業特別会計 ・介護保険事業特別会計 ・水道事業会計 ・病院事業会計	認定(全会一致)	認定(全会一致)
和泉市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
公の施設の指定管理者の指定について(和泉市リサイクルプラザ)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
公の施設の指定管理者の指定について(和泉府中駅前自動車駐車場)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
市道路線の認定について(はつが野94号線ほか34路線)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
公の施設の指定管理者の指定について(和泉市コミュニティセンター)	可決(全会一致)	可決(全会一致)
和泉市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	可決(全会一致)	可決(全会一致)
公の施設の指定管理者の指定について(和泉市内体育施設(和泉市立市民体育館、和泉市立コミュニティ体育館、和泉市立光明池球技場、和泉市立光明池緑地運動場、和泉市総合スポーツセンター、榎尾川公園テニスコート、和泉市温水プール))	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
和泉市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例制定について	可決(賛成多数)	可決(賛成多数)
平成30年度和泉市一般会計補正予算(第5号)	【総務安全所管分】	可決(賛成多数)
	【都市環境所管分】	可決(全会一致)
	【厚生文教所管分】	可決(全会一致)
	【庁舎整備所管分】	可決(全会一致)
Society5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書		可決(賛成多数)
消費税増税中止を求める意見書		否決(賛成少数)
上記の他、議案7件、報告3件、監査報告9件、意見書3件をそれぞれ可決等しました。		

一般質問

15人の議員による市政全般に関する一般質問の内容を一部要約して掲載しています。

要望 今年台風被害という特別な事情もあり、来年度以降の対応についてもしっかりとお願いしたい。

進捗をまいりたい。

答 来年度も募集を予定しており、工事期間の問題等で辞退された方についても再度申請可能としている。また、D判定で通学路沿いのものについては補欠順位に関わりなく優先的に補助決定することとなり、今年度の決定分についてこれに当てはまるものは、来年度の募集で再度申請いただいた場合には、優先的に補助決定を受けることが可能となる。改修を行う意思がありながら止むを得ず辞退される方については再度の申請を案内し、本市の制度を活用しつつ引き続きブロック塀の安全確保を推進してまいりたい。

問 業者がなかなか捕まらない、順番待ちをしている。また、台風の被害により思わぬ出費がかさみすぐにはブロック塀の撤去改修まで費用が回らない、工期が想定以上になってしまいうなど、補助金を受ける条件である2月に工事完了ができなかった場合の補助金決定については一旦辞退していただくことになるの事だが、今年度補助が決定したものは優先度・危険度が高いD判定のものも多く、撤去改修が必要にもかかわらず残ってしまう事になる可能性が高い。その後の対応はどう考えているのか。



民間ブロック塀の改修補助対応について
明政会 大浦 まさし





もっと災害に強い
和泉市に

公明党

服部 敏男



問 今年の夏は、災害級と言われるほどの猛暑だった。空調設備の設置されていない小学校に、その対策が急がれるが、今後どのようにされていくのか。

答 設計業務の完了時期をできる限り前倒しするとともに、国の「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を活用し、全ての小学校普通教室への空調設置に向けて取り組んでまいりたい。

問 本市は、災害廃棄物処理計画を作成しているか。

答 策定していないが、平成19年6月に和泉市環境事業協同組合と「災害時団体救援協定書」を締結し、災害ごみ及びし尿等の収集運搬の協力要請が可能であることや平成24年9月には、「災害発生時における災害廃棄物の仮置場の使用に関する協定書」を締結し、災害廃棄物の仮置場の確保ができていたことなどから、災害廃棄物処理計画に見合った準備体制が構築されている。

問 今後、大規模災害が発生することが想定されるなか、災害廃棄物処理計画を作成する必要があると考えるがどうか。

答 直ちに計画を作成しなければならないものではないが、大阪府をはじめ泉州地域の市町とも調整しながら必要に応じて、検討してまいりたい。



新型インフルエンザ
の対応等について

大阪維新の会 遠藤 隆志



問 新型インフルエンザ等が発生した場合、行動計画やマニュアルに基づき、本市が取り組む主な事項や担うべき役割などの概要を教えてください。

答 大阪府に緊急事態宣言が発令された場合には、市長を本部長とした「和泉市新型インフルエンザ等対策本部」を設置すると共に、本部長指揮のもとコールセンターの設置、感染症の発生状況の把握や分析を行うサーベイランスの協力、医療従事者や対策実施に係る者に対して行う特定接種や住民接種の実施、要援護者への支援や感染による死亡者の火葬等に取り組むなど、市民生活の安定と感染拡大及び早期終結にむけ取り組む予定である。

要望 幸にして、2009年（平成21年）から新型インフルエンザ等は発生していないが、過去の経験を踏まえ、また今年のような大型台風に見舞われた場合、多くの人が避難所へ集まることで、避難所で感染症が発生するという、負の連鎖も安易に想定される。災害時と同様にパンデミックに備え、万が一のときにはいつでも対応できる体制を日頃から備えておくことが大事であると考え。過去の体験を風化させることなく、今後の施策に反映していただくことを強く要望する。



発達障がい児の
支援について

明政会

辻本 孔久



問 障がい児通所受給者証を持っている人数を就学前と就学後別に聞きたい。

答 平成30年10月現在、就学前160人、就学後417人の計577人である。

問 市内に放課後等デイサービス事業所等は何箇所あるのか。

答 現在33箇所ある。

要望 当事業は障がい児の支援施策として不可欠だ。ある事業者では支援の専門性の高い人材の指導・助言を受け、さらに質の高い療育の確保をめざしている。しかし、それには、費用がかかり事業所運営に支障が出ることから、さらなる行政支援により、事業の充実を図ることを強く要望する。

問 市にはWISC検査の解析をし各学校等に指導、助言する専門家はいないのが現状だ。現場の先生が子どもをどのように支援したらよいのか分からない。先生に助言する専門家が必要と考えるが、市の見解は。

答 教員は指導方法に悩む場面も多くあるという事は認識している。教員自身の指導力と専門性の向上が必要である。専門家がWISC検査の結果等をもとに実際の子どもの様子や教員の指導を観察し指導助言を行う取り組みも必要と考える。支援に関わる様々な人材の確保と活用を努め、子ども達へより良い教育や支援を行っていく。

要望 将来社会的に自立できる事を願う。



災害対応について
「命の水」

大阪維新の会 松本 利裕



問 台風21号の被害から、停電が発生し集合住宅で水道が出なかったため、消火栓を使用し給水活動を行ったと聞いているが、どのような活動を行ったのか。

答 市内10箇所で消火栓に仮設給水スタンドを設置し、午前6時から午後8時までの間上下水道部と本庁職員の交代で行った。

要望 あえて「命の水」と申し上げておくが、何時いかなる時も飲料水の確保に努めていただくよう要望する。

問 中学生が被災者に対してボランティア活動を行ったと聞いているが、どのようなことか。

答 9月6日から授業を再開した富秋中学校では、地域から水が出なくて困っているという情報を受けて、生徒会と複数の部活動の生徒のべ40人が、授業後に2日間、停電でエレベーターが止まり、水の運搬に困っていた高齢者に対し、高いところで10階まで水を運び、大変感謝された。

要望 高層階に住む高齢者にとっては、エレベーターが動かない中で、重い水を運ぶのが困難なときに大変ありがたかったと思う。まさに「命の水」であったのではないのか。災害時という中で起こった今回の事象は、本当にうれしい限りである。今後未来の担い手である子どもたちと地域をつなぐ取り組みの推進をお願いする。



台風21号による
学校施設の被害と
復旧について

五月会 松田 義人



問 台風21号による学校施設の被害と復旧の状況について伺う。

答 体育館屋根はほぼ全壊1校、半壊1校、校舎屋上防水破損2校、校舎等樋破損4校、扉やシャッター破損5校、その他フェンス及びガラス破損や倒木については、ほとんどの学校で被害があった。被災直後より緊急対応を行い、順次復旧に向け進めている。

問 屋根が全壊した信太中学校体育館について、生徒や多くの保護者が心配しているが、工事完了と利用可能となる見通しは。

答 早期着手に努め、工期末は平成31年2月末であるが、材料調達などに予想以上の時間を要する懸念もある。できる限り早期の利用が図られるよう努めてまいりたい。

要望 今後、被災した全ての学校における一刻も早い復旧をお願いする。中でも、大きな被害を受けた信太中学校については、運動会の中止など生徒やその保護者は、非常に残念な思いをしておられる。この上さらに、卒業式も自分たちの学校で開催できないとなると、その悲しさは計り知れないものがある。ぜひ、生徒たちが3年間の中学校生活を過ごした母校で卒業式が開催できるよう強く要望する。

その他の質問項目

・第4次和泉市地域福祉計画策定について
・富秋中学校区等まちづくり構想案の策定



起債について

日本共産党 原 重樹



問 平成29年度末の起債残高の中で、金融機関からの借入額とその内三井住友銀行と池田泉州銀行の2指定銀行からの借入はそれぞれいくらか。

答 銀行借入分は約91億4,762万円、指定銀行2行分は約63億2,261万円。

問 直近分の金利はそれぞれいくらか。

答 指定銀行分が1・47%、その他の入札分が0・22%である。

問 2指定銀行分は、下水道会計の18億円弱と合わせれば81億円にもなり、金利差を考慮すれば1億円にもなる。全て入札し、毎年1億円を節約すべきではないか。

答 長年相対交渉で借り入ってきたが、現在は発行額全体の3分の1を入札している。指定銀行には公金の収納や支払事務を無償で担っていたため、事務費相当を勘案してこのような扱いとなっている。

問 取り扱いの書面や取り決めはあるのか。

答 書面などの取り決めはない。

要望 銀行側からみれば、マイナス金利の中で、全体の3分の2、何十億円も優先的に運用できること自体が指定銀行への変な優遇だ。百歩譲って、仮に経費が必要ならきちんと書面も含めて取り決めをして支出すべきであり、金利差で賄うべきものではない。全て入札することで、毎年1億円の節約ができる。改善を強く求める。



災害対策の充実に
ついて、台風21号
を教訓に、

五月会

浜田 千秋



問 台風21号の災害後、課題も含めて検証をしていると思うが、検証の状況はどうなっているのか。

答 各校区長からの意見聴取、避難所担当職員へのアンケートなどを実施し、さらに災害関係機関とのタイムライン検討会を11月に開催した。今後継続して課題の抽出、検証を行う予定である。

要望 今回の経験を踏まえた地域防災計画の見直しを要望する。

被災情報をいち早く市民の皆様へ情報発信できるようなメッセージボード付の自動販売機など、様々な情報伝達ツールの充実について要望する。

車が使えない時に活用できるノーパンクタイヤを装着した自転車の整備を要望する。備蓄食料の配布方法については、現場で柔軟な対応を行うことを要望する。

ドローンを災害時に活用できるように操縦者の養成について要望する。

通電時火災発生のおそれがあるため、電線に覆い被さっている樹木の枝・葉などの撤去を要望する。

小さなことだが、事前の準備や対策を講じることが減災に繋がると考える。できることから取り組んでいただきたい。



和泉警察署の
建替えについて

明政会

山本 秀明



問 和泉警察署は昭和45年に建築され48年が経過している上、勤務する署員数も、建設当時と比べ2倍以上に増え、老朽化と狭隘化が著しい状況であり、早期の建替え検討が必要と感じるが、市の認識は。

答 警察力の強化は市民の安心安全を守るためには重要であり、警察庁舎の機能更新は市民サービス向上にも繋がると考える。

問 現在の和泉警察署敷地の4割強は、和泉市の私有地で、大阪府に無償で貸し付けられている。仮に警察署が現地建替えを行う場合、引き続き無償での貸付は可能か。

答 条例の趣旨や従来の貸付要件等を逸脱しない限りは、無償になる。

問 高槻市では、和泉警察署より後に建設した高槻警察署の建替えに向け、水道局の市有地を提供することを前提に、大阪府に対し、建替え検討を求めている。和泉市としても、和泉警察署の老朽化、狭隘化を考えると、用地提供などをアピールし、積極的に大阪府に対し和泉警察署の建替えを求めるべきと思うが、市の見解は。

答 和泉警察署早期の建替え検討は、本市も望むところであり、実現のために市として可能な様々な方策を検討していきたい。

その他の質問項目

- ・消防広域化の進め方について
- ・和泉市版人事給与改革計画策定について



槇尾中学校区に
おける学校適正配置
について

明政会

坂本 健治



問 私は何年も前から槇尾中学校地区の施設一体型小中一貫校の導入について、その必要性を唱えていた。今回の厚生文教委員会協議会で一定の方向性が示され、概ね賛成だが、建設予定地を槇尾中学校とすることに対しては多に疑問点があるので指摘する。通学路の安全性に関して、「槇尾中学校前南」の交差点は事故が多発している危険である。避難所として善正町や南面利町から遠く、迅速に避難し難い。在校生がいる中の建設工事は安全対策も含めて工期と予算がかさむ等の問題もある。私の考えは横山小学校跡地に建設が望ましいと考えるが見解を聞く。

答 議員指摘の問題点もあるが、槇尾中学校での建替えが、色んな検討の結果ふさわしいと考える。

要望 横山小学校の場所に、建設すれば国道170号を横断する歩道橋があり通学路としても安全が確保される。災害時に避難所としての機能がある学校はできる限り地域の中心付近に建設することが望ましい。この他にも多くの意見があるが、今後の適正学対策審議会での協議に期待する。

その他の質問項目

- ・学校及び避難所としての空調整備について



生活保護世帯の
子どもの大学進学
について

日本共産党

早乙女 実



問 生活保護法改正等で、生活保護世帯の子どもの大学進学支援が変わったが、内容について伺う。また、遡及適用はしたのか。

答 保護世帯の子どもの貧困連鎖を断ち切るために、大学等に進学する新生活の立ち上げ費用として「進学準備給付金」を自宅通学の場合は10万円、進学で転居する場合は30万円を支給しており、平成30年1月1日以降の対象学生にも支給している。

問 保護世帯の子どもが大学進学の際に行われている「世帯分離」はどうだったか。

答 大学等に進学した人が、自宅通学の場合は、その人のみ「世帯分離」の取り扱いとなる。ただし、進学された人の生活保護費は、支給対象外となるが、平成30年4月1日以降より、その世帯の住宅扶助費は、減額しない取り扱いとなっている。

要望 一定の改善はされたようだが、さらに周知徹底が必要だと思う。卒業後の進路選択の参考にするため、高校3年生に限らず2年生以下の者も含めて、周知して欲しい。堺市は独自に「リーフレット」を発行している。そもそも、高校生のように「世帯内進学」が認められていないのが問題だ。1970年に「高校進学」が認められたように、大学進学率が80%を超えた現在、「世帯内進学」を認めるよう、国に働きかけをべきだ。



小学校
夏の水泳記録会
について

無会派

小野林

治三夫



問 和泉市の小学校で毎年行われている水泳記録会は、子ども達の体力づくり、健全育成をめざした取り組みである。今年で57回を迎える伝統行事の一つであるが、大会開催3日も前に各学校の担当先生の意見も聞かず教育委員会から中止決定した理由は。

答 記録的な猛暑続きのため、練習不足。また熱中症予防の観点からも子どもの命・安全を考え、校長会会長・代表、教頭会代表と電話連絡して早めに決定した。

問 水泳記録会を次年度以降どのように運営していくか、議論の内容について問う。

答 副会長の校長会代表と教頭会代表の小学校教頭並びに小学校長会会長、教育委員会事務局において会議を開催し、子どもの命・安全を第一に考えることを基本に、創意工夫による熱中症対策の課題解決をめざし、開催方法の検討を重ねている。

要望 教育委員会は、もっと現場の先生方の意見を聞くべきだと考える。中止決定した翌日からすぐに、各小学校独自に記録会が行われている。このことは、猛暑の中一生懸命頑張っている子ども達に対する現場の先生方の配慮だと思う。市内には大手スポーツジムに2ヶ所、市が委託している施設に1ヶ所室内プールがある。次年度以降の開催に向けて、創意工夫し更なる検討をお願いしたい。



市民サービスの向上
市営住宅の管理
について

公明党

吉川 茂樹



問 単身者向け住宅が高倍率となる中、一般住宅の募集については応募割れも発生しているようだが、単身者・高齢者が入居しやすいような市営住宅の在り方についてどのように考えているのか。

答 一般住宅の募集に比べて単身高齢者が入居できる住戸の面積基準は、55㎡以下の住戸は限定的であり、建築当時からすると住戸タイプのミスマッチが顕著に現れているところも現状としては理解しているところである。現在の取り組みとしては、これらの空き住戸ができれば積極的に募集を行っていくことに加え、今後予定している住宅整備の際には、単身者や高齢者に見合ったタイプの仕様について、住宅整備計画に盛り込んでいくこととしている。今後は、単身高齢者が入居できる55㎡以下の面積基準の考え方を一部見直すなどの措置が可能であるか等について、大阪府や他市の取り扱いを踏まえながら、来年度中には一定の方向性を出せるよう研究してまいりたい。

要望 現在の単身者向けの広さの要件は55㎡以下である。55㎡の次は55・9㎡である。わずか0・9㎡の差で対象住宅にならない。公営住宅法の目的からすると、見直しの必要がある。ぜひ見直していただきたい。

その他の質問項目
・RPA(パソコン自動処理)について



こどもの口腔崩壊と
その対策について

無会派 小林 昌子



問 小中学校での学校歯科検診の結果、口腔崩壊の疑いのある児童・生徒数について聞く。また、対象者への対応は。

答 平成30年度の歯科検診の結果、むし歯が10本以上の口腔崩壊の疑いのある児童・生徒数は小学校で23人、中学校で11人である。対応については、生活面や家庭面において注意が必要と思われるケースは、学校歯科医、校長等管理職、養護教諭及び学級担任が情報を共有し、対応方法を検討するなど、必要に応じて他の関係機関と連携を図っている。

問 予防のためには給食後の歯磨きが重要だ。保育園や幼稚園ではしっかり指導している。学校での状況と今後の対応は。

答 給食後の歯磨きの実施は小学校1校と義務教育学校1園で実施している。各学校には歯磨き実施について奨励していくが、習慣作りは家庭での取り組みが重要であり、習慣の定着促進に努める。

問 一斉に取り組むことは難しいかもしれないが、歯磨きをしたい児童・生徒が歯磨きをすることは可能か。

答 自主的に歯磨きをしたいという児童・生徒への対応については、学校長等と調整してまいりたい。

その他の質問項目

・台風21号から学ぶ危機管理について



災害時協定の現状と
あるべき姿について
他1問

大阪維新の会 飯阪 光典



問 災害時協定について再度質問し、現状と実働するためのあるべき姿について要望する。今回の台風21号発生時に、工事等役務の分野で災害時協定は稼働したのか。

答 通常の緊急工事対応で業者の確保が可能であり協定に基づく要請は行っていない。

問 過去に類を見ない災害であったにもかかわらず協定が稼働しなかった。前回の要望点である履行能力の確認は行ったのか。

答 新規協定時には事業者を訪問し確認を行なっている。既締結事業者には、事業内容、従業員数などの確認依頼文を送付し、履行能力確認の整理作業中である。

要望 前回要望の実現には感謝するが、今回の災害時に実働いただいたのも地域の実情を熟知した地元業者が大多数であったことから見ても明らかのように、行政として事業者の協力に対し報いる方策を考え、信頼関係を築かなければ、もしもの時の災害時協定は実働しない。実働する災害時協定とするためのシステム構築を要望する。

問 買物困難者支援の取り組みの具体策は。

答 民間企業により、本市の一部地域にて移動販売車による支援を実施している。

要望 高齢化の進行と買物困難地域の拡大は喫緊の課題である。住民のニーズを満たしていただける事業者と実施に向けた調整と検討、マッチングを要望する。

4件の意見書を可決

各関係省庁へ送付しました。

- ・義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書
- ・認知症施策の推進を求める意見書
- ・北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書
- ・Society5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書



会議録検索システムが 新しくなります

2月1日から、タブレットやスマートフォンの画面サイズに自動で合わせて表示される等、よりご利用いただきやすくなります。

なお、これまでどおり、和泉市議会ホームページの「会議録の検索」からご覧いただけますので、ぜひご利用ください。



人事案件に同意

次の方を任命することに同意しました。

教育委員会委員

《再任》^{ふじわら やすし} 藤原 安次氏（室堂町在住）

任期：平成30年12月22日～平成34年12月21日

議員研修会報告

平成30年11月20日に大阪府市議会議長会主催の議員研修会が吹田市で開催され、本市議会からも多数の議員が参加しました。

演題：「ニュースの裏側から
“キーワード”で日本の今後を読む」

講師：高岡 達之 氏
（読売テレビ放送 報道局 解説委員）



議会の情報を発信

◇市議会ホームページ



・議会中継

本会議や委員会の様子をライブ中継しています。録画映像は会議終了後から3日程度でご覧いただけるようになり、1年間見ることができます。

・一般質問・大綱質疑要旨

議員がおこなう質問項目を定例会ごとに掲載しています。

・会議録速報版

会議を開催してから約1ヵ月後に校正前の会議録を公開しています。その後、正式な会議録を公開した時点で速報版は削除します。

・会議録の検索

過去に開催された会議内容を発言者やキーワード、開催年などで検索することができます。

市議会ホームページは
こちら。



※QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

第1回定例会の予定

議事の都合により日程や開会時間に変更される場合がありますので、詳しくは電話：0725-99-8154 議会事務局へお問合せください。

日 程	会 議	場 所	開会時間
2月13日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後1時
2月20日(水)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時
2月25日(月)	厚生文教委員会・協議会	委員会室	午前10時
2月26日(火)	都市環境委員会・協議会	委員会室	午前10時
2月27日(水)	総務安全委員会・協議会	委員会室	午前10時
3月 5日(火) ～11日(月)	予算審査特別委員会	議 場	午前10時
3月13日(水)	議会運営委員会	委員会室	午後2時
3月19日(火) ～22日(金)	本会議(一般質問)	議 場	午前10時
3月25日(月)	本会議(議案審議)	議 場	午前10時

第4回定例会・委員会の傍聴

	開催期間	傍聴者	ライブ映像 中継閲覧者(※1)
決算審査 特別委員会	10月22日 ～10月26日	0人	59人
本 会 議	11月27日 ～12月17日	9人	41人
常任委員会	11月30日 ～12月4日	2人	45人
庁舎整備 特別委員会	11月9日(※2) 12月5日	2人 4人	9人 8人

※1 開催日ごとのライブ中継閲覧者数のうち、最大アクセス時の人数を累計したものです。

※2 閉会中に開催しました。

市議会へのご意見をお聞かせください

市民の皆さまにとって、より身近で開かれた市議会となるようご意見を募集しています。電話、ファックス、市議会ホームページの「ご意見・お問い合わせ」フォームなどからお寄せください。

〒594-8501

和泉市府中町二丁目7番5号

和泉市役所 議会事務局

電話：0725-99-8154 (直通)

FAX：0725-43-4525

HPアドレス：http://www.gijiroku.jp/izumi/index.html

